

墨田区のお知らせ2014.9.1

NO.1757 (毎月1日・11日・21日発行)

# すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2・3面…不燃化を推進する制度
- 4・5面…心身障害者医療費助成制度
- 6面…すこやかライフ
- 7・8面…講座・教室・催し

すみだと全国の旬間歳時記

●9月3日：王 貞治氏が通算本塁打の世界記録を更新した日  
昭和52年のこの日、元プロ野球選手で、のちに墨田区名誉区民となった王 貞治氏が通算756号本塁打を打ち、世界記録を更新した。なお、王氏は現役引退までに通算868本の本塁打を打っており、この記録は未だに更新されていない。

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

## 安全なまちで、安心して住み続けるために “燃えない・壊れないまち”づくりの推進

区では、災害に強い“燃えない・壊れないまち”をつくるため、建築物の不燃化を促進する事業に取り組んでいます。今号1面～3面では、建替え等の相談窓口として設置した「まちづくりの駅」をはじめ、不燃建築物への建替えや防火・耐震化改修に対する助成制度についてご紹介します。災害に強いまちをつくるため、これらの事業をご活用ください。

### 災害時にまちと命を守るため 不燃化促進事業の活用を

木造建築物の密集地域を有するすみだでは、災害時には、建物の倒壊や火災による延焼などの被害が懸念されています。特に、区北部地域は区南部地域と比べると、不燃化率(一定区域内の総建物面積に対する不燃建築物の面積の割合)が低いので、建築物の不燃化等の対策を早急に進める必要があります。

そこで区では、災害に強いまちづくりを推進するため、建築物の不燃化や防火・耐震化改修への助成等を行っています。その一つとして、特に早急な不燃化対策が必要な地区として都から指定された“不燃化特区”(京島周辺地区・鐘ヶ淵周辺東地区)を対象に、「木密集地域不燃化10年プロジェクト推進事業」を昨年度から実施しています。この事業では、不燃化特区内で要件を満たす不燃建築物を建てる場合に助成を行うほか、



まちづくりの駅では、「まちづくりコンシェルジュ」が丁寧に建築等の相談に乗ります

建築等の相談窓口である「まちづくりの駅」を開設し、建替え方法や助成制度の相談を受け付けています。いつまでも安全に、安心して住み

続けるために、ぜひ、不燃化促進事業を活用してください。  
【問合せ】防災まちづくり課不燃化・耐震化担当 公5608-6268

### 建替えの相談は「まちづくりの駅」へ

建替え等の相談窓口として、不燃化特区に指定された京島周辺地区と鐘ヶ淵周辺東地区に「まちづくりの駅」を設置しています。ここには「まちづくりコンシェルジュ」が常駐しており、相談者の意向に沿った建替え等がスムーズに行えるよう、無料でアドバイスをしています。

京島まちづくりの駅(京島2-15-5)



【利用日時】毎週月曜日～金曜日午前9時～午後5時 \* 正午～午後1時を除く【問合せ】公3617-2262

鐘ヶ淵まちづくりの駅(墨田3-40-3)



【利用日時】毎週火・木・土曜日午後1時～5時 \* 土曜日は午前9時～正午も利用可【問合せ】公6657-5968

まちづくりコンシェルジュに聞きました!

建築の“よろず相談所”として 誰でも気軽に来られる場所です

鐘ヶ淵まちづくりの駅  
まちづくりコンシェルジュ 鷹取 勉さん



不燃化を目的とした建替えに限らず、建築や住まいのことは、専門的な知識や手続が必要なため、自身の力だけでは処理できないことが多々あると思います。また、身近に相談できる人がいないという方や、どこに相談すればよいか分からないという方も多いでしょう。

「まちづくりの駅」は、そんな方にとってつけの“よろず相談所”です。ここでは、不燃化の相談をはじめ、建物に関することならどんな相談も受け付けていますよ。相談時には、まず相談者の現状をよく聴いて、意向に沿ったアドバイスをするよう心掛けています。また、「まちづくりコンシェルジュ」は建築はもちろん、法律や税の専門家とも連携しています。ですので、建替え等の話が具体的に進んでからも、手続などのお手伝いができますよ。自分の家について気になっていることや、検討していることなどがありましたら、何でも構いません。ぜひ、気軽に相談しに来てください。